

未来への招待状

30/7/2026

令和8年度学校説明会

千葉市立千葉高等学校

スーパーサイエンスハイスクール指定校
産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革推進事業指定校

Welcome to 市立千葉高等学校！

1 スーパーサイエンスハイスクール

2 ネクストハイスクール

3 Thinkerの育成



SSH: 第Ⅳ期5年目(通算20年目)

千葉県的高等学校で
最も歴史があります！



SSH: 理数探究

	1 年次	2 年次	3 年次
理数科	理数探究（1 単位） テーマ設定	理数探究（1 単位） 課題研究	理数探究（2 単位） 課題研究の深化
普通科SSHコース	総探（1 単位） 千葉市 × SDGs	理数探究（2 単位） テーマ設定・課題研究	理数探究（2 単位） 課題研究の深化



千葉大学高校生理学研究発表会



CCSS Fair 2025
(教室で実施)



千葉県高等学校課題研究発表会

1. スーパーサイエンスハイスクール

SSH:フィールドワーク(野外実習)

	フィールドワーク	実施場所	普通科 普通コース	普通科 SSHコース	理数科
	Field Study	(伊豆大島)			●
5月	地学基礎実習講座	(勝浦・鴨川)		●	
	生物基礎実習講座	(君津)		●	
7月	SS-Science Camp I	(茨城・筑波)	●	●	●
8月	SS-Science Camp II	(立山黒部)		●	
10月	SS-Field Study	(アメリカ)			●

※令和7年度より熱中症予防の観点から基礎実習講座を5月に実施

● : 1年次 ● : 2年次



ヨセミテ国立公園(カリフォルニア州)

1. スーパーサイエンスハイスクール

高校教育改革の「改革先導拠点」校

文系・理系を問わず、すべての生徒が、

問いを立て、

証拠に基づいて考え、

他者に説明し、

社会に働きかける力

を持つようにする

高等学校教育改革促進基金の創設 ～N-E.X.T. (ネクスト) ハイスクール構想～

令和7年度補正予算額 (案)

2,955億円



※N-E.X.T. (ネクスト) ハイスクールとは、New Education, New Excellence, New Transformation of High Schools の略である。

「強い経済」を実現する総合経済対策 (令和7年11月21日 閣議決定) 抜粋

第2章 「強い日本経済実現」に向けた具体的施策 第1節 生活の安全保障・物価高への対応 (6) 公教育の再生・教育無償化への対応 (教育無償化への対応)

いわゆる高校無償化と併せて公立高校や専門学校等への支援の拡充を図るため、政党間の合意に基づき、安定財源を確保した上で、交付金等の新たな財政支援の仕組みを構築することを前提に、国から2025年度中に提示される「高校教育改革に関するグランドデザイン 2040 (仮称)」に沿った緊急性のある取組等について、都道府県に達成する基金等により先行的に支援する。

- 課題
- 2040年には、産業構造や社会システムの変化を踏まえた労働力需給ギャップにより、地域の経済社会を支えるエッセンシャルワーカーの圧倒的不足、いわゆる理系人材の不足が懸念されるところであり、産業イノベーション人材の育成が重要。
 - 少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方の過疎化が一層深刻化 (2040年には高校1年生が約36%減少)。現状でも約64%の市区町村において公立高校の立地が0又は1であることなどを踏まえ、地理的アクセスを踏まえた多様な学びの確保が重要。

① 産業イノベーション人材育成等に資する高等学校教育改革促進事業 令和7年度補正予算額 (案) 2,950億円 支援期間: 3年程度

各都道府県に基金を設置し、類型に応じた
高校教育改革を先導する拠点のパイロットケースを創出し、取組・成果を域内の高校に普及する。

アドバンス・エッセンシャルワーカー等 育成支援

- 地域産業や社会・生活基盤を支える分野において、新技術を活用し、生産性の向上・高付加価値化の実現が求められている。
- 技術革新のスピードが加速する時代に適した課題解決能力の獲得に向け、探究的・実践的な学びの積み重ねや深まりのある学びを実現する。

理数系人材育成支援

- 未来成長分野においては、理系高等教育への進学者の割合の増加、高等教育での実践的な教育が求められている。
- 先進的な新たな知を生み出す力を育成するため、理数的素養を身に付けつつ、自ら問いを立て、解決する研究を行う高等教育を見据えた文理融合の学びを実現する。

多様な学習ニーズに対応した 教育機会の確保

- 少子化への対応においては、生徒の地理的アクセスの確保を図ることに留意しつつ、多様な人間関係の中で得られる学びを踏まえれば、一定の生徒数の規模を確保した学びを提供することが必要。
- 人口減少地域に、魅力ある学びの選択肢を増やすため、地域の教育資源を活かした学びや遠隔授業を活用した学びの提供を実現する。

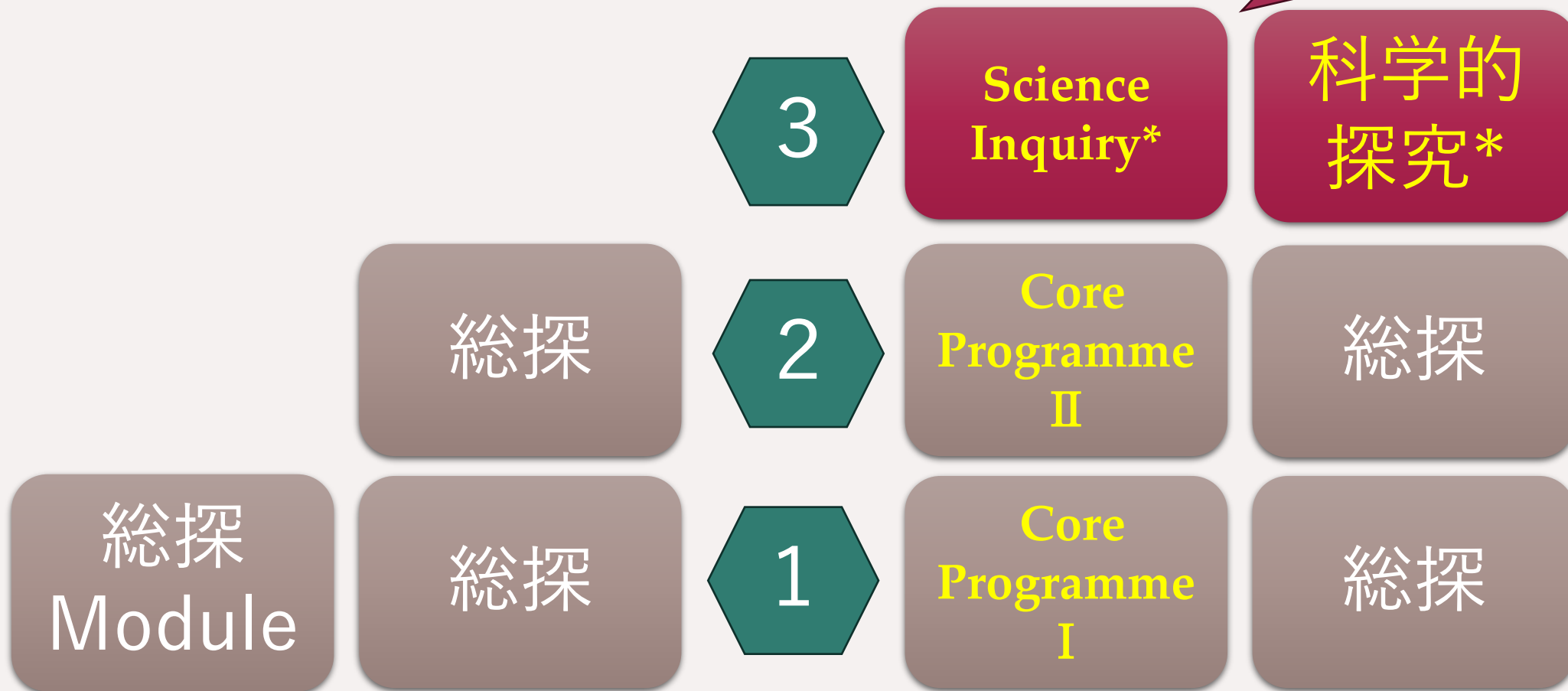
事業内容

学ぶ意欲のある高校生が、家庭の経済状況に左右されことなく、学習習慣の定着、学習時間の増加、学びへ向かう姿勢の確立ができるよう、放課後等を活用し、学校と地域の連携による学力向上・学習支援のための取組、探究活動の深化による多様な進路に向けた支援を行う。

2. ネクスト・ハイスクール

総合探究3単位→6単位

理数科や普通科SSHコース選択者のように、3年生で総探を学べる選択肢を全生徒に



* 選択科目



総合的な探究の時間（普通科） 【科学的探究モデル】

テーマ選択

（4カテゴリー）

- STEM（理工経数）
- 芸術・生活・スポーツ
（部活動）
- 社会課題解決（千葉市の問題）
- My好奇心

共通プロセス

（Core Programme）

- 問い設定
 - 仮説構築
 - データ収集
 - 分析
 - 修正・再検証
- 

3年間の流れ

（計画）

- 1年：探究基礎・問い設定
 - 2年：方法論深化、データ蓄積、検証、論文作成
 - 3年：社会発信、論文発表、総合型選抜準備
- 

Core Programmeの目標

3

研究論文の発表＋英語による発信力の育成

2

Thinkerの育成＋英語による発信力の育成

1

Thinkerの育成（探究基礎スキルの獲得）

NEXUS HALL

(探究・接続・発信
の中核拠点)
【既存のホールを改修】

画像はイメージです

NEXUS HALL (後方より)

発表・配信・議論を一体化したハイブリッドホール。
大型スクリーン、プロジェクター、ラインアレイスピーカー、
照明・音響設備を備え、リアルとオンラインの
双方向交流を実現します。
左右対称のアカデミックな空間で、
国際会議や講演会、研究発表にも対応します。



NEXUS HALL (前方より)

正面のステージから後方を望むと、
全面の壁面は音響・遮音設計とした不透明壁とし、
その裏側にDXラボ・ワークステーションを
配置しています。
2階はウェルカムスペースと会議室が見渡せ、
国際会議や交流の場としても活用できます。



DX ステーション

(高度データ分析・発信拠点)

【既存の第2コンピューター室を改修】

画像はイメージです

DXステーション (全体イメージ)

グループでの探究・分析・創造・発信を支える次世代ラーニングスペース。ICT・解析機器・スタジオ機能を一体化し、データサイエンスからプレゼン・発信までシームレスに活動できます。

可動式モニター・ホワイトボード
ワイヤレスで簡単に共有・書き込み

小スタジオ (グリーン)

動画撮影・配信・プレゼン発信が可能

グループワークエリア (約4人×6~7グループ)
レイアウト変更が容易で自由な協働が可能

ハイスペックPC・解析機器エリア
データ解析・シミュレーション・AI活用

DXステーション (別アングル)

最新のICT環境と多様な機器を備え、探究・分析・制作・発信を自由に行える空間です。
小スタジオや大型モニターを活用し、学びの成果をすぐに表現・共有できます。

大型ホワイトボード+プロジェクター
授業・ワークショップ・発表に最適

可動式モニター・ホワイトボード
ワイヤレスで簡単に共有・書き込み

ハイスペックPC・解析機器エリア
データ解析・シミュレーション・AI活用

グループワークエリア (約4人×6~7グループ)
レイアウト変更が容易で自由な協働が可能

機材・ツール収納
すぐに使える環境で効率的に活動

Thinker(考える人)になろう

Curiosity

好奇心旺盛で

Passion!

情熱をもって

Better Future

よりよい未来を創る